

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月下旬
基準日	毎年1月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.ishiihyoki.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120－094－777（通話料無料）

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



住 所 広島県福山市神辺町旭丘5番地
電 話 番 号 084-960-1247（代表）
F A X 番 号 084-960-1010
ホームページ <https://www.ishiihyoki.co.jp/>



ORIGINALITY,

PASSION,

CHALLENGE.

第46期 報告書
平成30年2月1日 ▶ 平成31年1月31日

「高収益の技術集団」を掲げ、世界的な競争に勝ち抜くための基盤を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（平成30年2月1日から平成31年1月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きにつきましても、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、引き続き回復基調が続くことが期待されます。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

当社グループの属する電子機器業界のＩＴ、デジタル分野におきましては、スマートフォンやＩｏＴ対応製品などの需要を背景に市場が拡大することが期待されております。

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりました。

今後につきましても、中期的な経営戦略として、「高収益の技術集団」を掲げ、世界的な競争に勝ち抜くための基盤を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成31年4月
代表取締役会長兼社長 石井 峯夫

「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、会社と社員の永遠の幸福を目指します。

- 1 世界一の技術集団として永遠の成長を目指します
- 2 「人」を大切にし、活躍の場を提供します
- 3 地域に根ざした企業活動を通じ、経済社会に貢献します



ビジョン

高収益の技術集団

会社方針

顧客を継続的に創造し、社員に夢を持たせる
安定と成長、キャッシュ・フロー経営の強化

- ① 製造業の原点回帰（実行力）
- ② 適時、適材、適所
- ③ ボーダレス経営
- ④ 事業の選択と集中

電子機器部品製造装置

売上高
60億3百万円 前期比 **11.4%** ▲

営業利益
10億21百万円 前期比 **14.9%** ▲

プリント基板分野

●直接営業に重点をおいた受注活動を海外子会社の活用や代理店との連携により進めております。当連結会計年度においては、フレキシブル基板市場向け製造装置の売上計上もあり、前年と比較し売上高が増加いたしました。

液晶関連分野

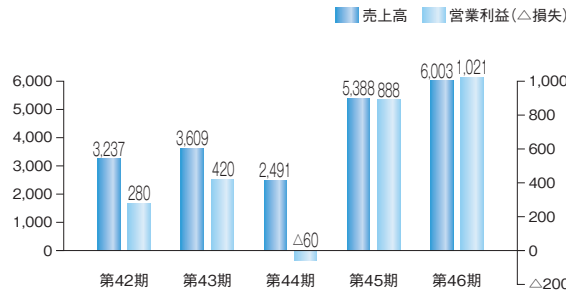
●平成29年1月期に獲得した有力液晶パネルメーカー向けのインクジェットコーターの大口受注を生産、出荷し、当連結会計年度においても、概ね計画どおりの売上計上となりました。また、同装置向けの消耗品売上が増加したことから、前年と比較し売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は60億3百万円（前連結会計年度比11.4%増）、営業利益は10億21百万円（前連結会計年度比14.9%増）となりました。

【主要製品】

- HS研磨機 ● FBC研磨機 ● インクジェットコーター
- 極薄基板用研磨機 ● 新型超音波洗浄機 ● アクアクリーンシステム
- セラミックジェットスクラブ機 ● 極薄基板用水洗乾燥機
- 水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

売上高／営業利益（△損失）（単位：百万円）



HS研磨機



インクジェットコーター



FBC研磨機



アクアクリーンシステム



水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

ディスプレイおよび電子部品

売上高
71億76百万円 前期比 **3.7%** ▼

営業利益
4億34百万円 前期比 **13.7%** ▲

アミューズメント向け部品分野

●売上高は、当社得意先の生産減少の影響により、前年と比較して減少いたしました。

工作機械および産業用機械分野

●売上高は半導体市場等の好調に牽引され、前年を上回りました。既存顧客の掘り起こしや新規顧客への提案等、引き続き取り組みを継続してまいります。

自動車向け印刷製品

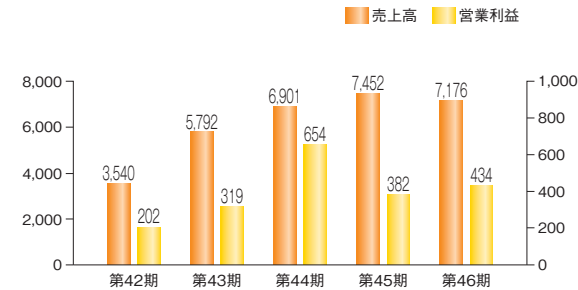
●売上高は、一部製品が生産終了したことにより、前年と比較して減少いたしました。

その他

●JPN, INC.においては、ラベル印刷製品の受注が好調に推移したことなどにより売上高が前年を上回りました。上海賽路客電子有限公司の売上高は前年と比較して減少しましたが、効率的な在庫管理の徹底など原価低減活動を進めた結果、売上原価率が改善いたしました。

その結果、売上高は71億76百万円（前連結会計年度比3.7%減）、営業利益は4億34百万円（前連結会計年度比13.7%増）となりました。

売上高／営業利益（単位：百万円）



○GOP液晶システム



○メンブレンスイッチパネル・ユニット製品



○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板

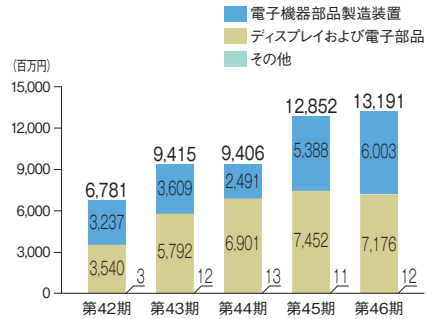


○フィルム形成

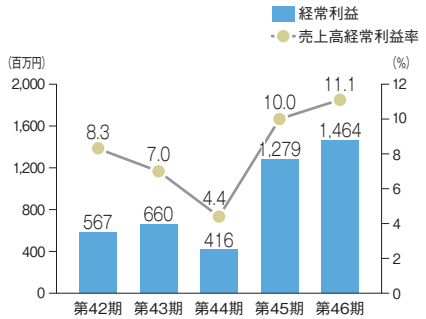


	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
売上高 (千円)	6,781,529	9,415,128	9,406,534	12,852,900	13,191,893
営業利益 (千円)	654,116	739,467	593,642	1,271,479	1,456,562
経常利益 (千円)	567,030	660,890	416,910	1,279,684	1,464,555
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	953,762	609,225	483,124	1,216,803	1,056,155
純資産額 (千円)	1,715,285	2,339,133	1,837,639	2,115,162	3,058,044
総資産額 (千円)	12,264,036	11,374,033	12,273,664	11,806,803	11,944,816
1株当たり純資産額 (円)	△6.49	72.10	106.05	251.84	366.22
1株当たり当期純利益 (円)	117.69	72.16	57.91	149.24	129.54
総資産当期純利益率 (ROA) (%)	7.78	5.36	3.94	10.31	8.84

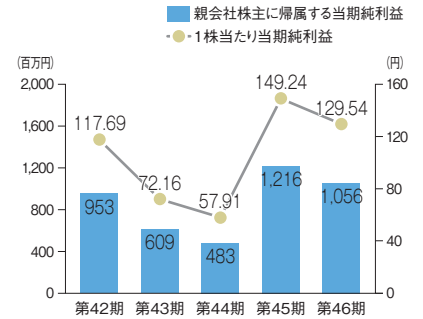
事業の種類別売上高



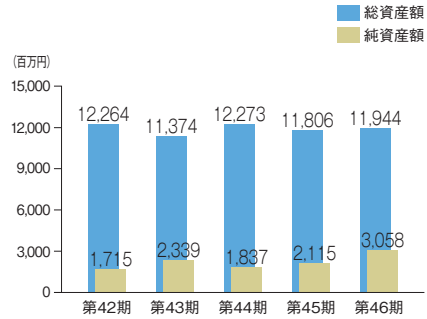
経常利益／売上高経常利益率



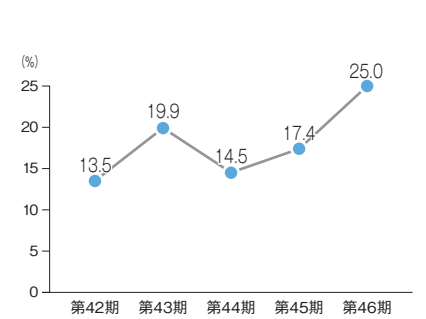
親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



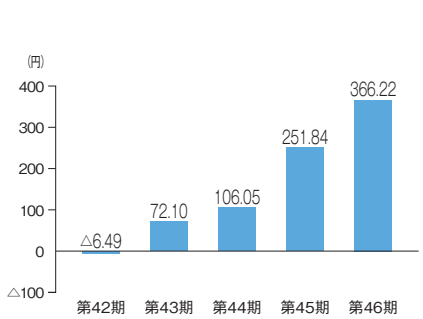
総資産額／純資産額



自己資本比率



1株当たり純資産額



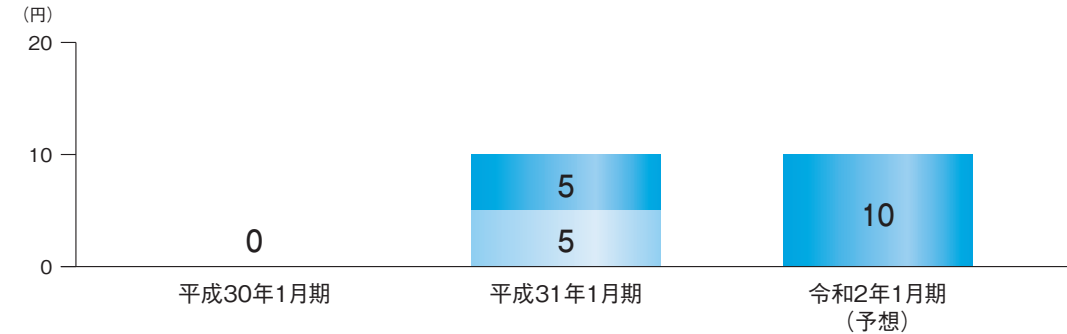
配当金について

当社は、安定経営の根幹を成す株主様からの支援に報いるため、株主様への利益配分を安定かつ継続的に実施することを重要な経営課題の一つとして考えており、利益水準や将来の事業展開、配当性向などを総合的に判断して、適切な利益配分を行うことを基本政策と考えておりますが、平成24年1月期において、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の損失の計上に伴い債務超過となったことなどから、利益剰余金の配当につきましては、誠に遺憾ながら平成23年1月期以降は無配を継続しておりました。

しかしながら、その後当社は、不採算事業の見直し・改善、希望退職者の募集などの組織再編と固定費の削減、保有財産の売却など、事業の黒字化を図り、業績につきましては、平成27年1月期以降、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて黒字化を達成し、自己資本を増加させてまいりました。加えて、平成30年4月25日開催の第45期定時株主総会にて、剰余金の処分（その他資本剰余金、別途積立金から繰越利益剰余金への振替）のご承認を頂き、復配できる体制が整ったこと、および今後の事業展開や内部留保等を総合的に勘案した結果、1株当たり5円の間配当に加えて、期末配当も同額の1株あたり5円を実施することができました。

今後も安定かつ継続的に配当が実施できるよう利益体質の確立を目指してまいります。

1株当たり配当金の推移



連結貸借対照表			(単位：千円)		
科 目			当期末 (平成31年1月31日現在)	前期末 (平成30年1月31日現在)	
(資産の部)					
流動資産			6,629,294	6,541,700	
固定資産			5,315,521	5,265,103	
資産合計			11,944,816	11,806,803	
(負債の部)					
① 流動負債			8,074,716	5,457,778	
固定負債			812,054	4,233,862	
負債合計			8,886,771	9,691,640	
(純資産の部)					
株主資本			3,313,842	2,298,453	
資本金			300,000	300,000	
資本剰余金			1,068,072	5,860,466	
利益剰余金			1,965,772	△ 3,842,011	
自己株式			△ 20,002	△ 20,002	
その他の包括利益累計額			△ 327,933	△ 245,120	
非支配株主持分			72,135	61,829	
純資産合計			3,058,044	2,115,162	
負債純資産合計			11,944,816	11,806,803	
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。					

① 流動負債
当社のシンジケートローン契約の期日が令和元年5月に到来するため、当該契約の借入残高をすべて流動負債に計上したことなどから、前連結会計年度末に比べ26億16百万円増加しました。当社と取引金融機関との関係は安定的に推移しており、早期に借り換えに合意する予定であります。

連結損益計算書				(単位：千円)			
科 目				当期 (平成30年2月 1 日から 平成31年1月31日まで)	前期 (平成29年2月 1 日から 平成30年1月31日まで)		
②	売上高			13,191,893	12,852,900		
	売上原価			9,455,955	9,355,855		
	売上総利益			3,735,938	3,497,045		
	販売費及び一般管理費			2,279,375	2,225,566		
②	営業利益			1,456,562	1,271,479		
	営業外収益			115,453	141,573		
	営業外費用			107,460	133,368		
②	経常利益			1,464,555	1,279,684		
	特別利益			7,904	52,696		
	特別損失			90,738	21,676		
	税金等調整前当期純利益			1,381,721	1,310,704		
	法人税、住民税及び事業税			165,924	98,748		
	法人税等調整額			148,119	△ 9,222		
②	当期純利益			1,067,678	1,221,179		
	非支配株主に帰属する当期純利益			11,522	4,376		
	親会社株主に帰属する当期純利益			1,056,155	1,216,803		
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。							

② 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
当社、JPN, INC.および上海賽路客電子有限公司の業績が堅調に推移し、経常損益の段階では前連結会計年度に比べ増収、増益となりましたが、のれんの減損損失の計上、当社の繰延税金資産の一部を取り崩したことなどから、当期純利益は前連結会計年度に比べ減益となりました。

個別貸借対照表			(単位：千円)		
科 目			当期末 (平成31年1月31日現在)	前期末 (平成30年1月31日現在)	
(資産の部)					
流動資産			4,616,365	4,338,412	
固定資産			5,309,281	5,407,715	
資産合計			9,925,646	9,746,127	
(負債の部)					
③ 流動負債			7,080,687	4,154,572	
固定負債			695,941	4,098,520	
負債合計			7,776,629	8,253,093	
(純資産の部)					
株主資本			2,146,128	1,486,831	
資本金			300,000	300,000	
資本剰余金			1,068,072	5,860,466	
利益剰余金			798,058	△ 4,653,633	
自己株式			△ 20,002	△ 20,002	
評価・換算差額等			2,889	6,203	
その他有価証券評価差額金			2,889	6,203	
純資産合計			2,149,017	1,493,034	
負債純資産合計			9,925,646	9,746,127	
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。					

③ 流動負債
シンジケートローン契約の期日が令和元年5月に到来するため、当該契約の借入残高をすべて流動負債に計上したことなどから、前事業年度末に比べ29億26百万円増加しました。当社と取引金融機関との関係は安定的に推移しており、早期に借り換えに合意する予定であります。

個別損益計算書				(単位：千円)			
科 目				当期 (平成30年2月 1 日から 平成31年1月31日まで)	前期 (平成29年2月 1 日から 平成30年1月31日まで)		
④	売上高			9,005,864	8,911,446		
	売上原価			6,092,175	6,068,208		
	売上総利益			2,913,689	2,843,238		
	販売費及び一般管理費			1,785,219	1,778,949		
④	営業利益			1,128,469	1,064,288		
	営業外収益			110,720	172,068		
	営業外費用			98,194	107,018		
④	経常利益			1,140,995	1,129,338		
	特別利益			3,469	44,565		
	特別損失			216,827	14,871		
	税引前当期純利益			927,637	1,159,032		
	法人税、住民税及び事業税			106,927	40,446		
	法人税等調整額			120,646	△ 31,046		
④	当期純利益			700,063	1,149,632		
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。							

④ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
工作機械および産業用機械分野向け製品、インクジェットコーター向け消耗品の販売が堅調に推移したことなどから、前事業年度に比べ経常損益の段階では増収、増益となりましたが、特別損失に関係会社株式評価損を計上し、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどから、当期純利益は前事業年度に比べ減益となりました。

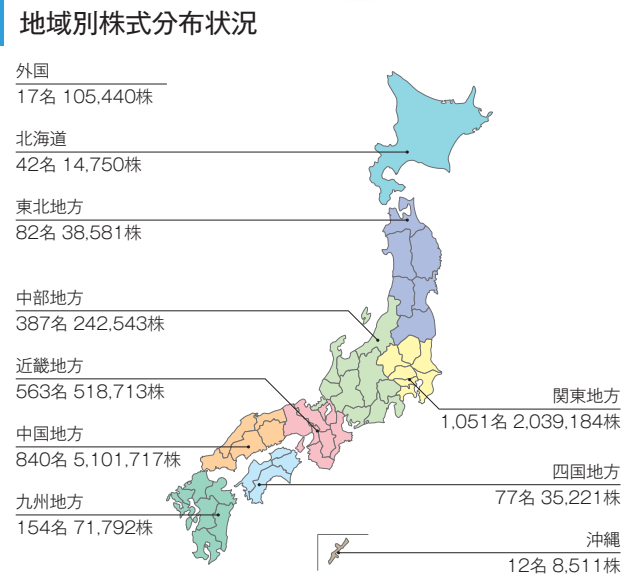
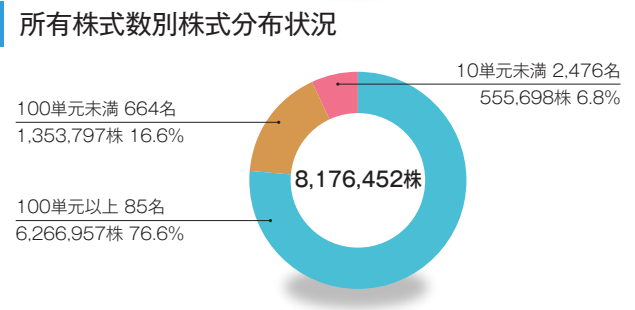
商号	株式会社石井表記
設立	昭和48年4月
資本金	300,000,000円
本社	広島県福山市神辺町旭丘5番地
営業所	東京支店（東京都板橋区） 千葉営業所（千葉縣市川市） 横浜営業所（神奈川県川崎市） 名古屋営業所（愛知県一宮市） 大阪営業所（大阪府吹田市） 滋賀営業所（滋賀県草津市） 明石営業所（兵庫県明石市） 広島営業所（広島県安芸郡）
従業員数	341名（連結 599名）
関係会社	国内 株式会社CAP 海外 JPN, INC.（フィリピン） ISHII HYOKI (SUZHOU) CO.,LTD.（中国） 上海賽路客電子有限公司（中国）



ホームページのお知らせ
<https://www.ishiihyoki.co.jp/>

ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

所有者別株主分布状況	
発行可能株式総数	31,644,909株
発行済株式総数	8,176,452株
株主数	3,225名



大株主（上位10名）		
株主名	所有株式数	持株比率
石井 峯 夫	1,908,446 株	23.41 %
石井 敏 博	615,000	7.54
イシイヒョーキ従業員持株会	546,266	6.70
石井 幸 蔵	167,060	2.05
石井 博 幸	161,380	1.98
株式会社三菱UFJ銀行	144,000	1.77
石井 朋 子	138,240	1.70
青 山 理	135,000	1.66
戸 所 正 敏	117,000	1.44
株式会社広島銀行	110,000	1.35

（注）持株比率は自己株式（23,233株）を控除して計算しております。